

新作

高嶺格 構成・演出作品

『アロマロア エロゲロエ』

AI・HALL
アイホール

2006.9.2.(sat.)19:00 3.(sun.)15:00



Take a chance
project 014
Every year we are bringing through there is a large number of artists

《高嶺格 TAKAMINE Tadasu》

1968年鹿児島生まれ。1990年代初頭より、パフォーマンスやインスタレーション、ビデオから工芸的手法まで、多彩なアプローチの作品を発表してきた。「性」の問題などにも触れながら、異なる背景や価値観を持つ他者への相互理解を志向するプロセスを表現し、社会的、政治的と捉われがちなテーマを概念や感情のレベルではなく自らの生身の身体をもって理解しようとする緊張感ある作品を発表している。また、ダムタイプのパフォーマーとして「pH」「S/N」「OR」の3作品に出演したほか、バットシェバ舞踊団（イスラエル）、ネザーランド・ダンス・シアター（オランダ）、Noism（芸術監督・金森稔、新潟）をはじめ、演出家・振付家とのコラボレーションも数多く手掛けている。京都造形芸術大学／映像・舞台芸術学科客員教授。

舞台監督＝ 澳義則 音響＝山中透 照明＝葛西健一
特殊宣伝＝松本祐一 映像技術＝小西小多郎 小道具＝中村仁 衣装＝宇田川依里

TICKET INFORMATION

◆料金（全席自由）

一般前売：2,500円 一般当日：2,800円
学生&ユース前売：2,000円 学生&ユース当日：2,300円

*ユース＝25歳以下。学生&ユース券は、アイホール、JCDNダンスリザーブでのみ取扱。
当日受付にて、学生証か年齢の分かる書類をご提示ください。
*開演1時間前より受付開始、入場整理番号を発行いたします。
*未就学児童の入場はご遠慮ください。

◆取扱

- JCDNダンスリザーブ（オンラインチケット予約サービス）<http://dance.jcdn.org/>
- 電子チケットぴあ <http://pia.jp/t/0570-02-9966> (Pコード:371-458)、0570-02-9999 (オペレータ予約)
- アイホール 072-782-2000 aihall@juno.ocn.ne.jp

◆発売中

（以下はぼんやりとした背景文）

会場・お問合せ＝アイホール（JR伊丹駅前）
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 TEL:072-782-2000 FAX:072-782-8880
<http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/> aihall@juno.ocn.ne.jp
主催＝伊丹市・（財）伊丹市文化振興財団

平成18年度文化庁芸術拠点形成事業 助成: **Asahi**アサヒビール芸術文化財団, 財団法人地域創造



宝くじは
量かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
設立されています。

(矛盾を抱えた) 特別チラシ『チラシ作るの、やめませんか?』高嶺格

「あ、このチラシ、もってる」と思ったこと、ありませんか? 劇場から帰って、その日もらったチラシを見るのは楽しいんだけど、だいたい、最後にはポイッと捨てちゃいますよね。はじめてもらうチラシならまだしも、なぜか、劇場に行くたびに、すでに持ってるチラシまで自動的に何枚も渡されてしまって、そんなとき、「なんだかなー」と、不条理な気分になる。なぜって、捨てるのは自分だから。「捨てる責任を押し付けられた」という気分になるのです。いや、事実、そうだから。

チラシを作るのは楽しいし、それを人に渡したときも、もらったときも、「ああ、やっぱり紙は何にも代えられない」と、ひとしきり思うんです。だから、本当は捨てたくないし、捨てることにためらいはあるのです。で、ね、ためらいながら、やっぱり、毎回思ってしまうのです。「どうしてこんなにたくさんの紙を、僕に捨てさせるの?」と。このとき、劇場に対する「小さな恨み」が、生まれるのですね。この「小さな恨み」ってね、劇場をめぐる状況に、実は少なからず影響しているんじゃないか、と思うんです。作品を作る人は、「作品のクオリティが全てを解決してくれるのだよ」と思っているかもしれませんが、実はそうでもないと思うんです。「捨てる」ことは、「捨てられる恐怖」を生み、それは増幅していくから。

そこで、すべての劇場と主催者をお願いします。

チラシを束にして、あらかじめ席に置いておくの、もうやめてもらえませんか? 欲しい人が、欲しいチラシだけを持って帰れるようにしてもらえませんか? それをやめれば、捨てられるチラシの数は激減するはずですよ。この10年ほどのあいだに、いつしか「日本の劇場の常識」となってしまった、この「折込み」という方法ですが、この方法、いつまでも続けられるとは到底思えないし、早いとこ次の段階に進んだ方がいいんじゃないでしょうか?

(つづく)

以上のような高嶺さんからの問題提起を受け、我々は、劇場・公演主催者として「折込み」について再考する時期が来ているのではないかと考えています。先日、高嶺さんにも参加していただき、「チラシ」についてのスタッフミーティングを行いました。この内容は、**アイホールウェブサイト**で公開しておりますので、ぜひご覧ください。引き続き、「チラシ」についてのミーティングを重ね、改善案・代替案模索のための試みを行ってまいります。その経過もウェブサイトに掲載します。舞台関係者、観客の方でご意見のある方がいらっしゃいましたら、参考にさせていただきますので、アイホールまでぜひご連絡ください。

アイホール

お問合せ=アイホール (JR伊丹駅前) 〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

TEL: 072-782-2000 FAX: 072-782-8880 <http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/> aihall@juno.ocn.ne.jp